



青森県内に事業所を置く企業が学生にアピールした説明会  
 =13日、八戸パークホテル

# 地元企業 人材確保に熱

## 八戸で説明会 学生130人にPR

八戸工業大、八戸学院大、八戸高専の3校と青森県、八戸市で構成する「青森COC+推進機構(八戸ブロック)」は13日、八戸パークホテルで県内に事業所を置く企業の説明会を開いた。来年度以降に就職活動を控えた3校の学生ら約130人が参加。就職動向が学生優位の「売り手市場」になっている現状を背景に、企業側は熱心にアピールし、学生は地元企業の取り組みについて関心を深めた。

学生に県内企業の魅力を発信し、地元就職の促進や人手不足に悩む企業の採用増につなげるのが目的。4年目となる今回は、建設業や製造業、サービス業などの57社が参加した。

各企業は、人事担当者に  
 よるプレゼンテーションや  
 ブースごとに分かれた説明  
 を通し、事業内容、自社製  
 品、経営理念などをPR。  
 アルバック東北(八戸市)  
 の網野康司総務部長は取材  
 に「近年は機械系学科の学  
 生の採用が難しくなってい  
 る。学生に企業名や事業内  
 容を認知してもらえよう  
 にしたい」と強調した。  
 八戸高専4年の黒澤景輔

さんは「IT技術やソフト  
 ウエア関連の仕事に興味か  
 ある。県内企業がどのよう  
 な事業やビジネスを展開し  
 ているのかを知る機会にな  
 った」と話した。  
 このほか、ソフトウェア  
 開発を手掛けるサン・コン  
 ピュータ(同市)の三浦克  
 之社長による講演、主催3  
 校の就職担当者からの情報  
 提供などが行われた。  
 (松原一茂)